

福島第一原子力発電所現地確認報告書

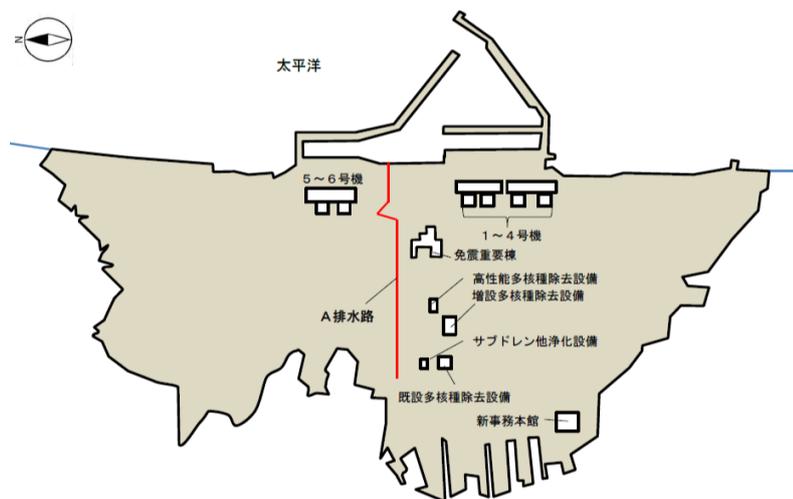
- 1 確認日
令和2年4月10日（金）
- 2 確認箇所
A排水路
- 3 確認項目
A排水路におけるP S Fモニタの運用状況等
- 4 確認結果の概要

発電所構内に敷設されているA排水路では、汚染水の漏えいを検知するためのプラスチック・シンチレーション・ファイバー（以下「P S F」という。）モニタを本格運用することを計画しており、前回（[令和2年2月20日](#)）はP S Fモニタの運用前の状況を確認した。

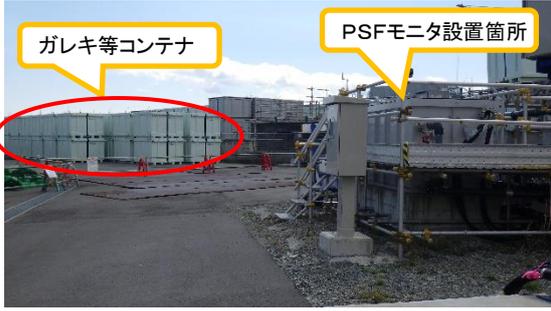
東京電力によると、P S Fモニタ設置場所から約10m程離れた場所に仮置きしてあるガレキ等コンテナに係る作業の影響でバックグラウンドの空間線量率が上昇することがあるため、P S Fモニタに鉛遮へいを実施してから運用を開始するとのことであったため、状況を確認した。

また、併せてA排水路の現況の確認を行った。

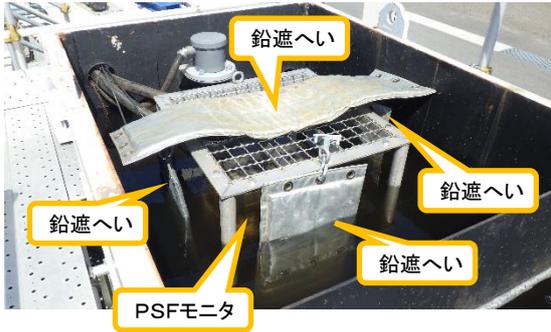
- ・ P S Fモニタとガレキ等コンテナの位置関係は（写真1）のとおり。
- ・ P S Fモニタ周囲4箇所鉛遮へいが実施されており、P S Fモニタの運用が開始されていた。（写真2）
- ・ P S Fモニタ近傍には線量表示器が新たに設置されていた。（写真3）
- ・ A排水路の開渠の側溝及び溜枡には土砂等の堆積はなかった。（写真4）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1)



(写真 2)



(写真 3 - 1)
 前回 (令和 2 年 2 月 2 0 日) 撮影



(写真 3 - 2)
 今回 (令和 2 年 4 月 1 0 日) 撮影
 空間線量率は約 $3 \mu\text{Sv/h}$ であった



(写真 4 - 1)
 免震重要棟近傍の側溝の状況
 (東側から撮影)



(写真4-2)
溜枘の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。